

CEFR-J レベル

A1.2

技能

Spoken Interaction

Can Do descriptor

スポーツや食べ物などの好き嫌いなどのとてもなじみのあるトピックに関して、はっきり話されれば、限られたレポートリーを使って、簡単な意見交換をすることができる。

⇒食べ物の好き嫌いなどのとてもなじみのあるトピックに関して、はっきり話されれば、限られたレポートリーを使って、簡単な情報交換をすることができる。

タスク：

内容：留学生が友達（生徒）を自分の家に招待するため、好きな食べ物、嫌いな食べ物について質問するので、その質問に答える。質問するという言語機能は試す必要はない（質問を生徒からさせる必要はない）。

形態：先生との面接形式とする。

手順

① 指示：「このカードを読んでください。読み終わったら顔を上げてください。」

② カード：

先生は留学生でああなたの友達です。留学生（先生）があなたを招待して手料理でござそうしてくれることになりました。献立を決めるため、好きな食べ物、嫌いな食べ物について留学生（先生）が質問するので、二人で会話をしてください。

食べ物の名前は日本語を使ってもかまいません。

カードを読み終わったら顔を上げてください。

③ すぐに始める。ストップウォッチで1分半測る。

④ 教員は、サラダ、スープ、メイン、デザートのうち3つは決めることを目標とする。

⑤ 生徒が黙ってしまった時には、直前に言ったのと同じ言葉をゆっくり繰り返したり、それを言い換えたりして発話を引き出そうとしてみる。それを1回試みて発話が出ないときには次に行く。このレベルでは、生徒の発話が自発的に出てくるかを確認するために、教員は次の発話をする前に最低5秒は待つ。

⑥ 理解を妨げるような誤った発話の時には、意味を確認する。それ以外の時には話を合わせて次に行く。

⑦ 話の途中でも、1分半後に会話をストップする。そこまでの発話で評価する。

（アウトプット）テキスト1：このCEFR-Jレベルで合格の会話

教員: I will cook something for you. Do you like vegetables?

生徒: Yes!

教員: What's your favorite vegetable?

生徒: I like tomatoes and potatoes. (1品目OK)

教員: Is cilantro OK?

生徒: What is that?

教員: Cilantro is also called "pakchee."

生徒: Ah. No. I don't like.

教員: OK. No cilantro. What kind of main dish would you like?

生徒: I like steak!

教員: That's expensive!

生徒: Chicken is OK.

教員: Deep fried chicken?

生徒: Deep? What is it?

教員: Like fried chicken.

生徒: Yes. (2 品目 OK)

教員: What else do you want to eat?

生徒: I like salad. (3 品目 OK)

教員: OK. I'm looking forward to it! Thank you. This is the end of the task.

(1 分半で 3 品決められており、受け身でなく自分から文で話しているため、評点 3)

(アウトプット) 2: 途中で沈黙など問題がある場合

教員: I will cook something for you. Do you like vegetables?

生徒: Yes.

教員: What's your favorite vegetable?

生徒: Tomato. (1 品目 OK)

教員: Is cilantro OK?

生徒: Mm?

教員: Is cilantro OK? (ゆっくり繰り返す)

生徒: I don't like cilantro very much.

教員: What kind of main dish would you like?

生徒: Again?

教員: What main dish would you like? (同じ質問を言い換える)

生徒: Beef. (2 品目 OK)

教員: I see. Tomato and beef. Sounds nice. What else are do you want to eat?

生徒: I like cake. (3 品目 OK)

教員: (1 分 30 秒たってストップウォッチが鳴る) OK. I'm looking forward to it! Thank you. This is the end of the task.

(3 品を決めている。決まり文句でない文を 1 つ (I don't like cilantro very much.) 自ら作っているため、評点 2)

開発段階

第 1 期 (作成) 第 1 期 (実施) 第 1 期 (分析)

第 2 期 (改訂) 第 2 期 (実施) 第 2 期 (分析)

メモ

注意点:

- ・質問を引き出す必要はないが、知らないであろう食材の名前を言ってみると、What is it? くらいは返す受験者もあり、評点 3 の候補になる。
- ・試験官が主導権を取るので、テンポよく進む。90 秒の間に、サラダ、スープ、メイン、デザートまで決められることも多い。

評価の目安:

- ・答えの中で、簡単な文は言えるか確認。エラーがあっても、決まり文句でない S+V の形のものが自然に 1 回でも作れたら評点 2。
- ・基本的に文章で答える。必要最低限の答え以上の情報を付け加えることができ、評点 3

開発担当者: 金子恵美子